

一般 公園運営のこれから

石井 祐太（市政の見える化党）



公園は市民の憩いの場であり、特に子どもたちにとっては大切な居場所だと考えています。公園の今後の運営について質問します。

〔Q〕公園施設意見集約の結果をどのように受け止め、今後どのように活用していくか伺う。

〔A〕今後の公園整備の参考とする。

〔Q〕新たに遊具の導入を検討しているか伺う。

〔A〕財源確保も重要となり、公園の規模や利用状況、安全基準による優先度に応じ、新たな遊具への更新を検討する。

〔Q〕都市公園公行為許可基準が実施されているが、その作成に至った経緯と徴収した利用料の活用を伺う。

〔A〕条例や規則を分かりやすく取りまとめ、公園の利用促進を図るとともに、公園利活用へ柔軟に対応することを目的とし、利用料は、公園の維持管理財源として活用していく。

〔Q〕水辺で遊べる公園について、現



在、工事中の下前田川樋門地域にある広場を活用し、市民が河川とふれあえる場所づくりを進める動きがある中で、官民協働の新しい形の公園等を検討する余地があるか伺う。

〔A〕下前田川合流部周辺では、国土交通省が進めている築堤工事に合わせて、広場を造成することが計画されており、今後、民間団体や国土交通省とともに、社会実験を通じた利活用を検討していく。

他に、「福祉事業の方針」「事務事業評価」について質問しました。

一般 自然災害への備えは万全か

藤原 万起子（市民ネット）



政府が地方自治体に対し、災害備蓄状況の公表を年1回義務づけることとなる。菊川市の防災備蓄など、防災対策は万全なのか問う。

〔Q〕災害備蓄状況の公表を年1回義務づけへの対応は。

〔A〕令和7年4月1日にホームページにて、現在における備蓄状況や今後の計画を示した菊川市防災資機材備蓄計画を公表するよう進めている。

〔Q〕避難所の備蓄倉庫の現状は。

〔A〕避難所となる各小中学校や地区センターへの分散備蓄に加え、避難者数に応じ、中央防災倉庫などから配送する集中備蓄を実施している。

〔Q〕災害用備蓄品の現状は。

〔A〕計画的に購入をし、基準に達していないものについても計画的に整備をしている。保管状況、管理方法は、賞味、消費期限に合わせて随時更新している。管理方法は、定期点検や訓練時に異常があれば修繕などを実施し、管理している。

〔Q〕市役所女子職員による防災ガールズの今後の活動は。

〔A〕地区防災連絡会で、地域防災に女性が参画するために必要な工夫について発表し、啓発した。今後も防災ガールズは、一人でも多くの女性が参画できるような取組を実施する。

〔Q〕「わたしの避難計画」の活用と周知は。

〔A〕昨年、地域防災訓練前に各戸配付し、作成のための啓発をしている。防災ワークショップや防災イベント、防災指導員への研修教材として使用し、多くの市民が作成できるよう広く啓発していく。

